

核抑止論・核の傘論と北朝鮮脅威論の虚実

岡本良治(福岡支部, 九州工業大学名誉教授)

(要約)

- § 0 貴重な認識の紹介
- § 1 朝鮮半島をめぐる情勢－10, 11月－
- § 2 核兵器禁止条約の意義と課題
- § 3 核抑止論の非人道性, 非合法性, 非有効性
- § 4 核の傘－期待と幻想－
- § 5 北朝鮮半島危機の背景と構造
- § 6 まとめと今後の課題

Filename=nuclear-deterrence-north-korea-threat20171202F.pptx

(要約)

- 1) 2017年7月に成立した核兵器禁止条約は、**国家安全保障概念の中心的戦略としての核抑止論を人道的な見地から否定**した。
このことは、約200年前のベンサムによる個人の安全保障の時代から、軍事力による国家安全保障を経て、現在模索されている平和と共生に基づく、人間の安全保障に至る理念の形成に大きく資するとみなしてよいかもしれない。
- 2) **核抑止論とその補完政策としての拡大核抑止論(=核の傘論)の有効性については、**核兵器禁止条約に反対した諸国および日本の政府が宣伝し、一般市民が期待している(期待させられている)ほどには、**実証的な裏付けは十分ではない。**
- 3) 現在の具体的な課題、たとえば北朝鮮による核ミサイル開発問題にも説得力のあるアプローチが必要である。
北朝鮮の非核化は核兵器禁止条約の成否についての試金石のひとつである。
- 4) **「北朝鮮脅威論」という情勢分析は一面的で不正確**である。歴史的文脈を貫く底流を踏まえ、
偶発的な軍事的衝突、核戦争回避のため、緊張緩和の努力が当面の課題で、
実質的な解決に向けて、多段階で忍耐強い取り組みが必要と思われる。

§ 0 貴重な認識の紹介

ヘルマン・ゲーリング(第2次大戦中, ドイツ軍国家元帥)の言葉
[パーシコ2003] [美浦2016]

国の指導者が国民を戦争に駆り立てるのはいとも簡単なことで、
攻撃されつつあると国民をあおり、
平和主義者に対して「愛国心が欠けている」と非難すればよい。

胡耀邦(元中国共産党総書記)の言葉: [カナナ2017]

「狭い愛国主義」は、「誤国(国を誤る)思想」、「誤国主義」であり、
それは日本と中国の双方に、あってはいけないものだ。
特定の人や思想を盲目的に信じることを危険なこと。

鈴木邦男(新右翼の論客)の言葉[鈴木邦2017]

「日本は軍隊がなく国防力が弱いから中国や韓国に舐められている。だから、
自衛隊を軍隊にして軍備を増強する。さらに、核兵器を持てば経済的に安上がりで、
他国に舐められることもないと主張する政治家がいるが、この論理は北朝鮮とほぼ
同じではないか。」P. 176. .

「国家はそもそも外圧を利用して国内をまとめ、外圧によって自分たちのまずい政治
を合理化しているのだ。」P. 177.

§ § 「安全保障のディレンマ」—軍拡競争の悪循環—

「安全保障のディレンマ」(security dilemma)

軍備増強や同盟締結など自国の安全を高めようと意図した国家の行動が、別の国家(潜在的敵性国)に類似の措置を促し、実際には双方とも衝突を欲していないにも関わらず、結果的に衝突に繋がる緊張の増加を生み出してしまう状況。

研究社 新英和中辞典での「dilemma」の意味:

名詞可算名詞

1(好ましくない二者択一を迫られる)板ばさみ, 窮地, ジレンマ.

be (caught) in a dilemma 板ばさみになる, 進退きわまる.

2【論理学】ジレンマ, 両刀論法.

→より適切な表現:「軍事力による国家安全保障のディレンマ」

→「人間の安全保障」(*)という概念を採用・実行すれば,
軍備縮小という好循環を生む可能性

(*) [古関2013]

§ § 「脅威」の定義とその構成要件

元内閣官房副長官補・柳沢協二氏の見解[柳沢20170822]

脅威=能力×意図

類似の定義と構成要件

1) 抑止力=能力×意図； [栗崎2015]

2) リスク(risk)=想定被害の大きさ×発生確率；
[レブソン2009]

関連した有用な分析:[豊下2007], 5章 「脅威の再生産」構造

§ 1 朝鮮半島をめぐる情勢ー10, 11月時点ー

- ・2017.10. 6 101カ国にまたがるNGOの連合体・国際核兵器廃絶キャンペーン(ICAN)にノーベル平和賞授与決定
 - ・2017. 10.22総選挙で、自公政権「大勝」、立憲民主躍進、希望の党伸び悩みなどの主な要因は野党の乱立と北朝鮮脅威論. (BBC, 韓国・朝鮮通信, 麻生副総理)
 - ・2017.10下旬
トランプ米大統領の初訪日・訪韓を控え、米軍の原子力空母3隻など先端武器が韓半島の周辺で前進配備された。米軍は空母「ロナルド・レーガン」と「シオドア・ルーズベルト」に続き、ニミッツ級航空母艦を日本海に集結。
 - ・2017. 10.27 北朝鮮:「『太平洋上で水爆実験』発言、言葉通り受け止めよ」
 - ・2017.11. 20 トランプ米政権、北朝鮮を「テロ支援国家」に再指定
 - ・2017. 11.29 北朝鮮、新型の大陸間弾道ミサイル(ICBM)「火星15」の発射実験に成功、「米本土全域を攻撃可能な超大型の重量級核弾頭を搭載できるミサイルだ」と発表。
- 12.1 福岡市でミサイル発射を想定し、Jアラートを活用した緊急速報メールの配信訓練. 全国の政令市で初.

§ 2 核兵器禁止条約の意義と課題

核兵器禁止条約のポイント

- ・前文でヒバクシャらの受け入れがたい苦痛を心に留めることをうたう
- ・核兵器の「開発」「実験」「製造」「生産」「取得」「保有」「貯蔵」「移転」「使用」、使用をちらつかせる「脅し」などの禁止(→核抑止論も否定)
- ・核兵器の自国領内への配備の禁止
- ・既存の国際合意において締約国が負う義務には影響を及ぼさない(ただし、核禁条約と両立する場合のみ)
- ・核兵器使用に伴う環境や健康などへの非人道的影響を認める
- ・核兵器のいかなる使用も武力紛争に適用される国際法、特に人道法の原則や規定に違反しうると見なす
- ・50カ国の批准後に発効。無期限有効

課題：核兵器禁止条約交渉自体に参加しなかった国々は核非拡散防止条約(NPT)で承認された核保有国(米, 露, 英, 仏, 中国), 実質的核保有国(インド, パキスタン, イスラエル, 北朝鮮)及び米国の核の傘依存国(日, 韓, 伊, カナダ, ドイツ, ポーランド)という主要先進7カ国などが含まれている. これらの国々への対応をどうするか.

→軍事力に基づく国家安全保障概念に支配され, その中心的戦略としての核抑止論, およびその補完戦略としての拡大核抑止(=核の傘)の批判的検証を深め, それぞれの国々の野党, 市民運動, 科学者運動およびこれらの共闘などを通じて, それぞれの国々の政府に倦まず弛まず諦めず要求していくこと.

北朝鮮の核ミサイル開発の脅威をめぐる両論

核兵器禁止条約の反対派:

一方、条約交渉をボイコットした核保有国や[同盟国](#)も採択後に反応した。

米英仏は共同声明で「我々は(核禁条約に)署名も批准もするつもりはない」と宣言した。さらに「安全保障環境の現実を明らかに無視している。(核禁)条約は、70年以上にわたって欧州と[北アジア](#)の平和維持の要となってきた[核抑止](#)政策と相いれない」と断じて批判した。

日本の別所浩郎・[国連大使](#)は採択後、[国連本部](#)内で記者団に「日本が署名することはない。今後も核兵器のない世界をめざし、核保有国と非保有国の信頼関係を構築するため努力する」と米国などに同調する姿勢を示した。日本は「[北朝鮮](#)の脅威といった現実の安全保障問題の解決に結びつくとは思えない」と3月の交渉会議初日に表明し、以降交渉に参加しなかった。

核兵器禁止条約の推進派:

核兵器に依存し、核抑止論を主張するからこそ、北朝鮮が核兵器保有するに到ったではないか。

自らの核兵器保有と核の傘依存を続ける一方で、他国の核兵器開発の糾弾を続けることは、非難の応酬を加速させるばかりか、核兵器使用の危険性を増大させ、国民の安全保障を損なうものであって、核兵器廃絶への道ではない。

北朝鮮だけに核開発中止を強制しても無理。

米国や核兵器に頼る日本も含め

世界の国々が核兵器をなくすことによってのみ解決できる。

§ 3. 国家安全保障の中心政策としての「核抑止論」

§ § 3.1 「核抑止論」の系譜

抑止論(deterrence theory)

核抑止は二つの意味を持つ(という主張がある)

1) 国家間の戦争を抑止する,

→ 冷戦初期のアメリカだけが核兵器独占するなど,

核兵器保有国と非保有国との間で成立(と考えられた)

2) 核兵器の使用を抑止する.

→ 旧ソビエト連邦が原爆実験に成功して以降、米ソは核戦争に撃ち勝つ(国家を破滅させうるだけの)核戦力を構成することに努力が払われたが、米ソ双方の核戦力が相互の国家を破壊できるだけの質量を整えた

1960年代以降は、いかに国家の破滅に至る核の使用をためらわせる

米(旧)ソ連の二極対立における核抑止と

核兵器保有国数の増加に伴う核抑止(は異なるはず?)

[核抑止@ウィキペディア]

確証破壊戦略(Assured Destruction Strategy、1954年)

相互確証破壊(Mutual Assured Destruction、MAD、1965年)

mad=狂気

§ § 3.2現代の「裸の王様」としての「核抑止論」

- (1)「核抑止論」の非道徳性, 非人道性
- (2)「核抑止論」の非合法性
- (3)「核抑止論」の非実用性, 非有用性

(1)「核抑止論」の非道徳性, 非人道性:

・きのこ雲の下でおきていたこと:

1)ヒバクシャ, 芥川賞作家の小説[林1975]より

「原爆は即死が一番いい」

「なまじー、二日生きのびたために苦しまぎれに自分の肉を引きちぎった工員がいた」

「人間を殺すのになぜここまで峻烈な兵器が必要なのか」

2)ヒバクシャ, サーク 節子2017.3@国連

「広島を思い出すとき、認識不能なまでに黒ずみ、膨らみ、溶けた肉体の塊となり、死が苦しみから解放してくれるまでの間、消え入る声で水を求めていた4歳だったおいの姿が、脳裏に最初によみがえります」

沈黙の閃光(1987年) http://www.antiatom.org/GSKY/jp/Hbksh/1008_setsuko-WC10.htm

3)「橋の上には凄惨な光景が広がっていた」[NHKスペシャル2017]

・核兵器は、必要悪ではなく、絶対悪である[湯川1977]

- ・「核兵器とその戦略は、考えられる中で最大規模のテロリストの論理を体現している」, 「一人のテロリストは飛行機一機の人間を数日人質にとるかもしれないが、核抑止は人類社会全体を無限の未来にわたって人質にする」[グリーン2000]¹²

(2)「核抑止論」の非合法性: [グリーン2000]

・1996年, 国際司法裁判所は事実上, 核抑止の否を認める.
「(中略), 裁判所は, 核兵器の威嚇または使用が, 国の存亡
そのものにかかった自衛の極端な事情のもとで, 合法であるか違法である
かをはっきりと結論しえない. 」と述べている.

それにも関わらず法廷は, こうした極限的な状況でも核兵器の威嚇ま
たは使用は国際人道法に従わねばならないことを全員一致で決定した.

国際人道法:

戦争の手段や方法を規制する原則や規則、それに文民、病人や負傷した戦闘員、
戦争捕虜のような人々の人道的保護を扱ったものである。

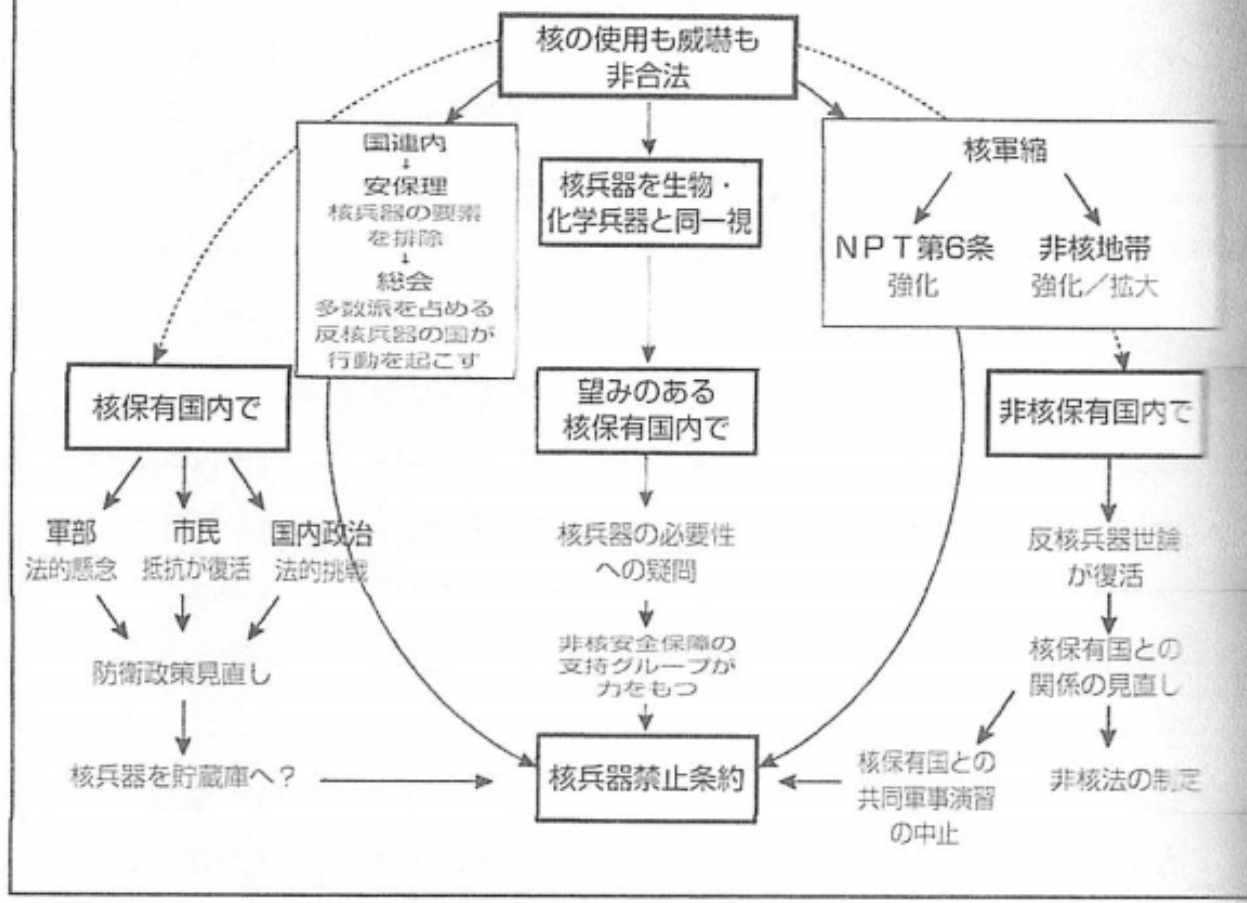
http://www.unic.or.jp/activities/international_law/humanitarian_laws/

ウィラーマントリー判事の意見の抜粋:

「抑止のための核兵器の第一の目的は, 冷酷で不快な報復である—それは戦争用
の兵器というよりも, テロリズムの道具である. 」

→2017年, 核兵器禁止条約

国際司法裁判所の1996年・勧告的意見がもたらす影響



[グリーン2000]

(3)「核抑止論」の非実用性, 非有用性:

1) キューバ・ミサイル危機(1962年):

戦略核戦力における米国の優位のもとで起こった.

旧ソ連指導部の決定, は厳密な意味において抑止の失敗ではないという主張があるかもしれない. 結果として, 米国が攻撃されなかったからである. しかし, 抑止が, 核戦争に発展しうるような挑発を防ぐことを想定しているとすれば, キューバへのミサイル設置はまさにそのような挑発であったのであり, キューバの例は抑止の失敗と評価されるのが正当である. [グリーン2000] [ウィルソン2016]

2) 1948年ベルリン封鎖,

3) 1955年朝鮮戦争,

4) 1973年中東戦争,

5) 1990年湾岸戦争 [ウィルソン2016]

6) テロリストは核兵器で抑止できない [グリーン2000]

7) 核抑止論の初期から核非拡散条約(NPT)体制より前の目標と経過

米国による核兵器独占による米(旧)ソ戦争の「抑止」,

[吉田康2006]

↓ 旧ソ連による原爆, 水爆の実験成功・保有

米ソ間の相互確証破壊戦略の下での核兵器使用の「抑止」

↓

英, 仏による核実験の成功・保有

↓

中国による核実験の成功・保有

1950年代の朝鮮戦争・中台衝突における米国の恫喝, 旧ソ連の冷淡さを経験して

8) 核抑止論の核非拡散条約(NPT)体制以後における目標と経過 [吉田康2006]

「核兵器国」(米・ソ・英・仏・中)による「秩序」という不平等条約

それ以外の国の核兵器開発の「抑止」, 原発は許可

↓

NPT体制＝「核のアパルトヘイト」と呼び, 抵抗の意志表示としての

インドによる核実験の成功・保有

↓

インドの脅威に対抗するためとして, パキスタンによる核実験の成功・保有

↓

2005年, 米印原子力協定—NPT体制否定

9) 北朝鮮の核・ミサイル開発(特に, 2016年以降)

- ・戦略核戦力・通常戦力および米韓軍事同盟, 日米軍事同盟になど
米国とその同盟国の圧倒的な軍事優位のもとで起きている!
- ・しかし, 抑止が, 核戦争に発展しうるような挑発を防ぐことを想定しているとする
れば, 北朝鮮の核・ミサイル開発はまさにそのような挑発であったのであり,
(核)抑止の失敗と評価されるべきである! [鈴木達201709] [東京20171127]

10) 米ICBMに全廃の声ー抑止力として役立たず [しんぶん赤旗20171128]

§ § 3.3「核抑止論」より安全な安全保障戦略を目指して

[グリーン2000]

- ・ 私たちは伝統的に、安全保障を軍事力と等価に見るように教えられてきた。「国の安全保障」の追求は、さらなる不安全を獲得しただけであった。

その理由は、私たちが他国を威嚇するために防衛基地を置けば置くほど、他国が私たちを手本にする可能性がそれだけ増すからである。

(国の)安全保障のディレンマ

- ・ 現代の軍事技術は「自国」だけの防衛を不可能にしている。たとえ相手が敵であっても、今や安全保障は相互協力に依存している。個人、国、そして人間社会全体の安全に影響する問題は、国境を越え、安全保障の概念を広げる。
- ・ これにとって代わるのは、安全保障を軍隊の「勝敗」ゲームとしてみるのではなく、全員にとっての「セーフティ・ネット」としてみること。

- ・ **共通の安全保障または協調的安全保障の概念；**

1982年、オロフ・パルメ元首相(スウェーデン)

冷戦終結前、ミハイル・ゴルバチョフ元書記長(旧ソ連)

- ・ ベンサムによる個人の安全保障の時代から、軍事力による国家安全保障を経て、現在模索されている平和と共生に基づく安全保障に至る二〇〇年の理念の変遷。 [古関2013] [豊下2014]

§ 4 核の傘—期待と幻想—

- ・そもそも「核の傘」とは？

自国に対する核攻撃を抑止することを「基本抑止」といい、同盟国や第三国に対する核攻撃を抑止することを「拡大抑止」あるいは「核の傘」という。

拡大核抑止論＝「核の傘」政策

- ・日米の拡大抑止協議

類似のもの；NATOの核協議

核の傘の問題点[グリーン2000]

問題点1：核保有国が核戦争の危険をおかしてまで、同盟国を守る意欲があるかどうか、あるいは軍事同盟の条約に明記されているかどうか。

問題点2：核同盟の中に入ったために、核攻撃を引き寄せることになり、それが安全保障を損なうという効果。核の傘が「傘」ではなく、核を引き寄せる「避雷針」になること。

問題点1:核保有国が核戦争の危険をおかしてまで、同盟国を守る意欲があるかどうか、あるいは軍事同盟の条約に明記されているかどうか。

→1) 米ソ間の戦略交渉の中心人物であった、ヘンリー・キッシンジャー元米国務長官

『核兵器と外交政策』(日本外政学会、1958年)「核の傘はない」と主張:

全面戦争という破局に直面したとき、ヨーロッパといえども、全面戦争に値すると(米国の中で)誰が確信しうるか。米国大統領は西ヨーロッパと米国の都市五〇と引き替えにするだろうか。西半球以外の地域は争う価値がないように見えてくる危険がある。

2) ターナー元CIA長官「日欧の核の傘は幻想」(1986年6月25日, 読売新聞)

「対ソ核報復を否定。米本土攻撃時に限る」

軍事戦略に精通しているターナー元CIA長官はインタビューで核の傘問題について、アメリカが日本や欧州のためにソ連に向けて核を発射すると思うのは幻想である。我々は米本土の核を使って欧州を防衛する考えはない。

アメリカの大統領が誰であれ、ワルシャワ機構軍が侵攻してきたからといって、モスクワに核で攻撃することはいえぬ。そうすればワシントンやニューヨークが廃墟になる。

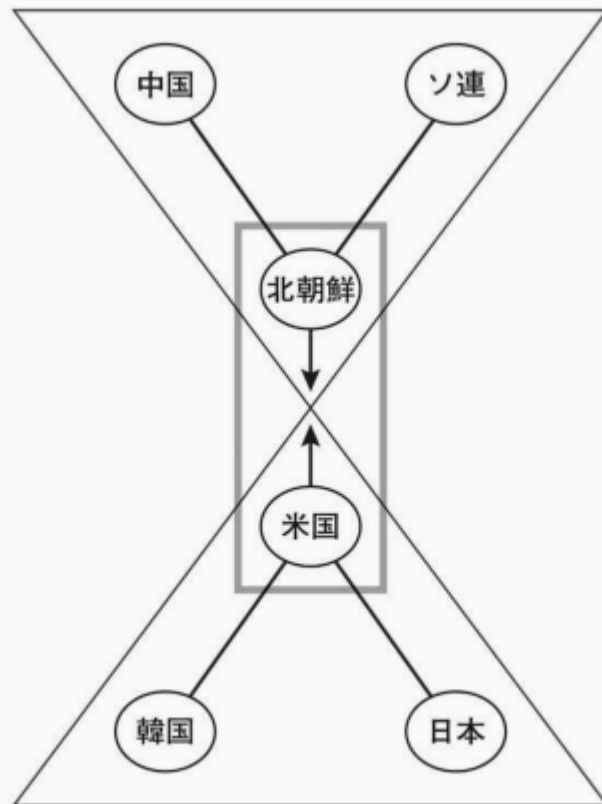
同様に日本の防衛のために核ミサイルで米国本土から発射することはいえぬ。我々はワシントンを破壊してまで同盟国を守る考えはない。

アメリカが結んできた如何なる防衛条約も核使用に言及したものはない。

日本に対しても有事の時には助けるだろうが、核兵器は使用しない。

問題点2: 核同盟の中に入ったために, 核攻撃を引き寄せることになり, それが安全保障を損なうという効果. 核の傘が「傘」ではなく, 核を引き寄せる「避雷針」になること.

→在日米軍基地を標的とする軍事演習を行っていると言明した北朝鮮政府.
日本(高度)上空を通過する弾道ミサイル実験.



[坂井平岩2017]

図3 北朝鮮の認識する朝鮮半島の対立構図

5) 保守の政治家, 論客における「核の傘」の実効性への懸念

石破茂(元防衛庁長官):

アメリカの「核の傘」は今も万全か, 「持ち込み」から共同 保有まで
あらゆる議論が必要だ[石破2017]

北朝鮮が日本に突き付けた課題——「核の傘」は守ってくれない

佐伯啓思(京都大学名誉教授)

週刊新潮 2017年10月12日

<https://www.dailyshincho.jp/article/2017/10170800/?all=1>

§ § ミサイル攻撃・ミサイル防衛論の虚実一

- ・日本を攻撃する中距離弾道ミサイルは秒速2000mから3000m、長距離弾道ミサイルにいたっては秒速7000mの速度で落下してきます。

これを撃ち落とすことなど、現実的にありえない。

- ・ [週刊朝日20170829]

日本が保有する現在の弾道ミサイル防衛システム(BMD)では、グアムを狙う弾道ミサイルの迎撃は「例外を除いては不可能」というのが常識だからだ。

BMDの性能に関するデータは特別防衛秘密に指定されているが、防衛省内で広く聞かれる性能や能力は次のようなものだ。北朝鮮とグアムの距離は約3500キロ。ノーマル軌道で発射した場合の最頂点の高度は700キロ前後に達する。ミサイルの迎撃はスピードが減速する最頂点付近がベストとされる。ところがイージス艦に搭載された迎撃ミサイルSM3の到達高度は約500キロ。そもそも飛距離でも速度でも届かない。

落下する弾道ミサイルを最終段階で迎撃する手段は、航空自衛隊のPAC3部隊(高射隊)しかない。全国に17の高射隊があるが、1個高射隊がカバーできる面積は半径20キロ程度に過ぎない。だからとてもすべての米軍基地をカバーすることはできない。日本にも東京や大阪などの都市部にたくさんの政経中枢があり、地方には多数の原発施設を抱える。

北朝鮮ミサイル発射で注目集まる米国「迎撃」の選択肢

[ロイター20170831]

29日のミサイル発射によって浮き彫りとなったのは、[トランプ](#)大統領による厳しい口調、制裁決議、朝鮮半島での軍事力の誇示は、[北朝鮮](#)の指導者である金正恩朝鮮労働党委員長の行動を阻止するにはほとんど効果を見せていない。

日本上空を通過したものの同国の領有区域が直接的な脅威を受けなかったミサイルに対し、米政府が多層防衛システムを配備する用意があるかどうかだ。配備された場合、自衛行為というよりも軍事力の誇示とみなされるだろう。

＜迎撃成功の確証なく＞

米国が最近行ったミサイル迎撃実験は成功したものの、専門家は、新型迎撃ミサイルTHAAD(サード)などを含む米国のミサイル防衛システムが、標的を撃ち落とす確証はないと指摘する。

§ § ミサイル防衛の論理と核抑止の論理とは理論的に矛盾していること

・なぜなら、「核の脅し」さえ通用しない「理性なき国家」(米国ブッシュ政権におけるならず者国家, イラク, 北朝鮮, イラン)が登場してきたからこそミサイル防衛が必要となった訳であり,

・論理的には, そこでは核抑止も「核の傘」も意味をなさないことが大前提なのである. [豊下2007] [豊下2014]

→米国トランプ政権が北朝鮮を「テロ支援国家」と再指定したことは

1) 北朝鮮に反発としての挑発の理由を与えた!

2) 北朝鮮には「抑止論」が通用しないことを, 意識せずに, 認めたことになる!

§ § § 「集団的自衛権行使による抑止力」向上は本当か？

2015年、「平和安全法制」の審議における「抑止力向上」という思い込み

反対派：「安全保障政策としては抑止力は必要かもしれないが、
しかし違憲であり、非立憲である」

推進派：「違憲かもしれないが、安全保障に観点からは抑止力は必要である」

自公政府の集団的自衛権行使容認の背景としての政策目標

集団的自衛権行使容認→日米同盟の強化→抑止力の強化→安全保障の向上

しかし、この政策効果については論理的根拠も実証的な証拠も提示されていない！

[栗崎2015]

抑止政策や防衛同盟の基礎となる標準的なゲーム理論モデルによる分析

[栗崎2015]

【結果1】武力衝突に伴い挑戦国が被るコストが、日米同盟と武力衝突することで獲得できる期待値と比較して相対的に小さい時、日米同盟は挑戦国からの武力攻撃を抑止することはできない。

→抑止力が全く効かない潜在的な挑戦国がいること

【結果2】憲法制約を残すことは、武力行使の政治的覚悟がないと見なされる。

→安保法制は抑止力を発揮する手段としては中途半端であり、安倍政権が期待する抑止効果は得られない。

【結果3】憲法制約を全廃したとしても、日本政府が日米同盟を重視するほど、米国の信頼は揺らぎ、そして抑止力も低下する。

←憲法制約を全廃しても、実際に有事に直面して軍事介入をためらう政権タイプが正の確率で常に存在する、すなわち米国に対する防衛義務を果たし得ない政府が存在することにより、米国への日本の信頼は大きく揺らぐ。

武力行使はどの国にとっても「高くつく政策」であること。

§ 5 北朝鮮半島危機の背景と構造

元内閣官房副長官補・柳沢協二氏の見解[柳沢20170822]

脅威=能力×意図

§ § 5.1 北朝鮮の『能力』: 核・ミサイルの現段階

1) 核兵器

2016.9 核融合により強化された核分裂弾頭(ブースター原爆)の小型化・軽量化[岡本2017]

2017.9 「水爆」実験, 160キロトンまたは300キロトン(→多核弾頭化のための実験を計画?)

2) ミサイル

- ・中距離弾道ミサイルはほぼ実戦配備

- 2016年秋の段階で日本も射程内に入ったはず!

- しかし, **政府は「国難」とは言わず, 野党, 市民連合の反応は?**

- ・ICBM開発は最終段階

- 2017.11.29 北朝鮮が米全土射程入るICBM「火星15」の発射成功

- 1) 設計完了した弾頭の大きさ・重量に近い模擬弾頭を使ったであろう,

- 2) 大気圏再突入技術を獲得しているかどうかは否定的, 肯定的評価あり.

- 米ソが実験を反復しながら会得したと言われる大気圏への突入角度が決定的に重要である→高度発射ではなく, 最長到達角度で発射する実験の蓄積必要

北朝鮮“水爆実験”の衝撃 危機の行方は NHKクロズアップ現代＋2017年9月4日(月)



強化型原爆(2016年)

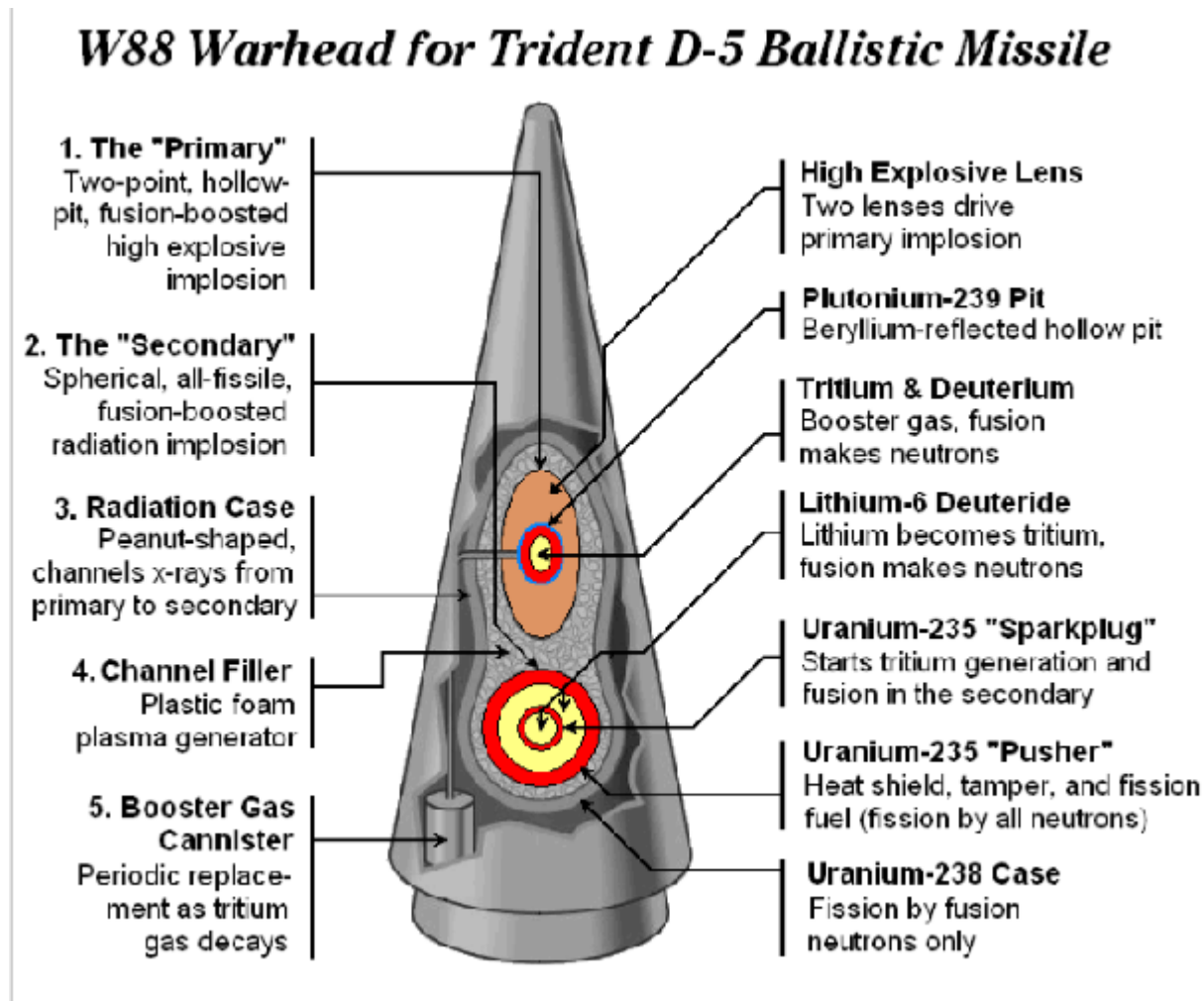


ソウル大学 原子核工学科 ソ・ギョングニョル氏
「前が核融合させる部分、そして後ろが起爆装置。この形はまさしく水素爆弾といえます。
旧ソ連が開発した水爆の形状に非常によく似ています。」

[ハンホソク2016] [岡本2017]

<https://www.nhk.or.jp/gendai/articles/4026/index.html>2017

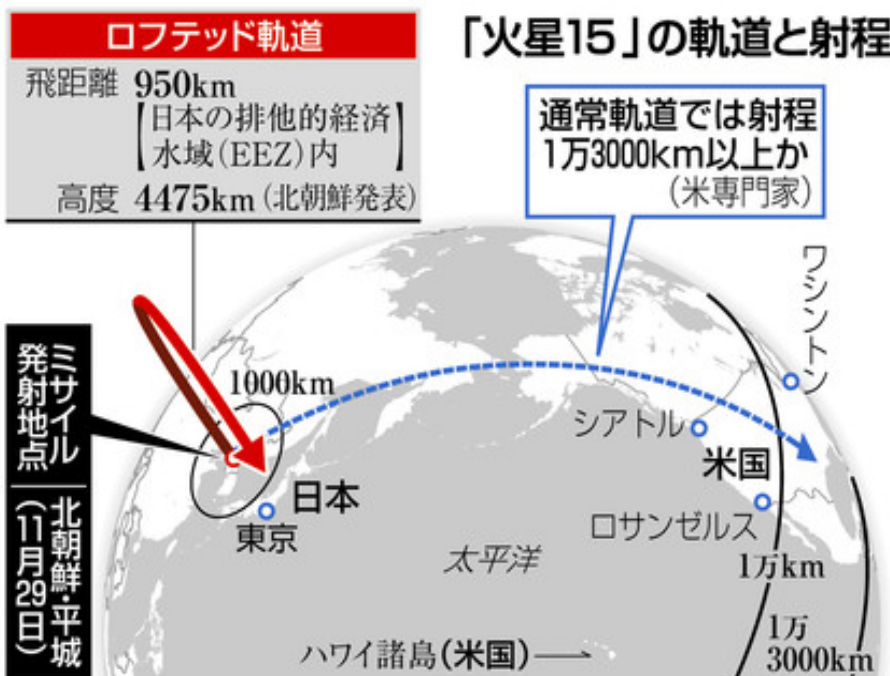
米国の代表的な熱核弾頭W88(最大威力, 475キロトン)



https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/1/1f/W-88_warhead_detail.png

正恩氏「核戦力完成」 北朝鮮「米全土射程」ICBM

2017年11月30日東京新聞



北朝鮮は声明で「ミサイル開発の完結段階に到達した」と強調。同日の朝鮮中央通信は、核弾頭の大気圏再突入技術と、新たに開発した移動式発射台の信頼性を確認したとした。

§ § 5.2 北朝鮮が日本を攻撃すると仮定する場合, その『意図』または理由は何か

1) 北朝鮮への直接の出撃拠点であると見なされる場合

「それは日本に米軍基地があり、そこから戦闘機が飛んでくることです。在日米軍の存在が、北朝鮮にとっての攻撃の動機なのです」

「日本がミサイルから安全であることと、米国が主導する世界秩序を守ることは、実は両立しない。今問われているのはどちらを優先するか、なのです」 [柳沢20170822]

2) 北朝鮮への軍事的攻撃への補給(兵站)拠点であると見なされる場合

北朝鮮の首脳部の見解・認識について

核・ミサイル開発の3つの(戦略的)目的 [磯崎・小泉2017]

- 1) 対米抑止力(安全装置または生命維持装置)の確保,  金日成, 金正日の時代から一貫して追求
- 2) 外交の道具;
金正日時代; 核抑止力の確保と外交の並行推進
金正恩時代; まず核・ミサイル開発推進, 米国との対等な戦略的一に登り詰める,
その後, 外交を考える,
- 3) 国内政治の文脈, 祖父(金日成), 父(金正日)に匹敵する権威づけ

他に, GDP27%に達する軍事費の中で, 核・ミサイルに特化することによる費用対効果比の向上という見方もある.

- 核・ミサイルを実戦またはレッドラインを越えて使用したら, 米朝間の軍事力の圧倒的な差のため, 高い可能性で滅びることを熟知している.
- 核・ミサイルを使用すること滅亡であるから, 北朝鮮が先制的に核・ミサイルを使用することはあり得ない

北朝鮮の核開発の目的・目標について、 政府高官による補足

北朝鮮外務省の崔善姫(チェソンヒ)北米局長；

1) 自国の核開発について「生死をかけた問題」とし、米国の攻撃を抑止するためだと正当化。核兵器を「他国に拡散させない」とも主張した。

2) 核兵器保有国が、核武装の理由として「核攻撃を抑止するため」と主張したことを振り返り、

「我々の核兵器も同じ目的のものだ」と訴えた。

「北朝鮮の核兵器は「米国を狙ったもので、他の国ではない」とも強調した。

→ 「核抑止論」
への依拠、
核抑止論の
自己矛盾

[朝日20171021]

↑
北朝鮮の「核は米のみ照準」は「信用できる」 核専門家
国際原子力機関(IAEA)の元事務局長ハンス・ブリクス氏(89)
2017年10月22日朝日新聞

§ 6 まとめと今後の課題

§ § 圧力強化と政治的対話・外交による解決

- ・圧力強化だけ論の不毛性と危険性
窮鼠猫を咬むの喩え，戦前の日本が経済封鎖の末に勝利の見込みのない開戦に踏み切ったという歴史の忘却
- ・**圧力一辺倒”の安倍外交で拉致問題は解決に向かうか？**

§ § 北朝鮮の政治体制の転覆論

米国大統領トランプ氏のみが主張，
しかし，ティラーソン国務長官らは目標ではないと明言

§ § 朝鮮半島の非核化論の2つのアプローチ

非核化入り口論

NPT体制保持の立場から北朝鮮の核保有の事実認定拒否
→「戦略的忍耐＝放置」の繰り返し，

非核化出口論[平井2017][川田2017][渡邊20170918]

まず，緊張緩和
最終目標としての非核化

米朝衝突の可能性についての複数の見方

ブルッキングス研究所の新任韓国碩座、「朝米戦争の可能性はほとんどない」

2017.10.14 <http://japan.hani.co.kr/arti/international/28693.html>

中国・ロシア・ワシントンの関係者たちは戦争を要求しない

金正恩は理性的であり、自殺行動はしない

ソウルは国際都市...米国軍事オプションの使用は不可能



北の核攻撃、東京・ソウルで死者210万人試算

読売新聞, 2017年10/5(木)

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20171005-00050089-yom-int>

米ジョーンズ・ホプキンス大の北朝鮮問題研究グループ「38ノース」は4日、北朝鮮が複数の核搭載ミサイルで東京と韓国の首都ソウルを攻撃した場合、死者が最大約210万人に達するとの試算を発表した。

米朝の衝突に現実味 あらゆるシナリオ想定を 英シンクタンク

2017年9月29日

遠い「対話で核放棄」(2017.11.27朝日新聞)

- ・北朝鮮の狙いは、核とICBMを背景に米国と「核軍縮交渉」を行って在韓米軍撤退などを引き出し、朝鮮半島の戦力バランスで優位に立つことにある。
- ・北朝鮮が対話で核を放棄するという分析は、日米韓の中で全く出ていない。
- ・「核兵器を保有する北朝鮮」を絶対に許さないのであれば、軍事力の行使などによる金正恩体制の崩壊しか選択肢がなくなる。
- ・だが、軍事力の行使は朝鮮半島や日本に深刻な被害をもたらす可能性がある。「核を持った北朝鮮」を前提とした安全保障の議論と並行し、軍事力の行使に至った場合に被害を最小限に抑えるための議論も現実的には必要になる。
- ・韓国では「核を持った北朝鮮」を前提とした議論が始まっている。韓国独自の核武装論や米戦術核の韓国再配備、米韓両国による「核の共同管理」を唱える声などが出ている。

引用参考文献情報(五十音順)

[朝日20170809] 核禁止条約「核の傘の下でも可能」 交渉まとめ役が見解, 朝日新聞, 2017.8.9

[朝日20170901] 防衛費2.5%増、膨張一途 陸上イージス「額未定」 概算要求, 朝日新聞, 2017年9月1日.

[石破2017] 石破茂, アメリカの「核の傘」は今も万全か, 「持ち込み」から共同保有まであらゆる議論が必要だ, 中央公論, 2017年11月号, p.48.

[磯崎・小泉2017] 磯崎敦仁・小泉 悠「『核保有』北朝鮮に, 大国・中口の思惑は」, 中央公論, 2017年11月号, p.64.

[NHKスペシャル2017] NHKスペシャル取材班「原爆死の真実一きのか雲の下で起きていたこと」岩波書店, 2017年.

[岡本2017] 岡本良治, 北朝鮮の核開発はどこまで進んだか. 日本の科学者 Vol.52.No.11(2017)24

[ICAN2017] ICAN(The International Campaign to Abolish Nuclear Weapons), About the treaty to prohibit nuclear weapons, 2017.7.7

<http://www.icanw.org/campaign-news/about-the-treaty-to-prohibit-nuclear-weapons/>

[ウィルソン2016] W.ウィルソン「核兵器をめぐる5つの神話」(RECNA叢書), 法律文化社, 2016年.

[太田2014] 太田昌克「日米<核>同盟——原爆、核の傘、フクシマ」(岩波新書) 2014年.

[核兵器数2017] Skye Gould, 核兵器は世界に1万4900個. 核所有国家一覧と推定所有数, Jan. 31, 2017, <https://www.businessinsider.jp/post-604>

[核抑止@ウィキペディア] 核抑止@ウィキペディア(フリー百科事典)

[川崎20170810] 川崎哲氏のブログ.

核兵器禁止条約は「核の傘の下でも可能」とする朝日新聞の記事について——そもそも「核の傘」とは?

http://s.webry.info/sp/kawasakiakira.at.webry.info/201708/article_1.html

[川田2017] 川田忠明_日本の科学者 Vol.52.No.11(2017) 31

- [カンナ2017] カンナ・ブログ「総書記 遺された声 日中国交 45年目の秘史」と「日中“密使外交”の全貌～佐藤栄作の極秘交渉～」, 2017.9. 26
<http://aoiyugure.blog62.fc2.com/blog-entry-3639.html>
- [グリーン2000] R.D. グリーン「検証『核抑止論』—現代の『裸の王様』」高文研, 2000年.
- [栗崎2015] 栗崎周平「集団的自衛権行使による抑止力」向上は本当か, 世界, 2015年9月号, pp.78- 88.
- [古関2013] 古関彰一「安全保障とは何か」岩波書店 2013年.
- [坂井平岩2017] 坂井隆, 平岩俊司「独裁国家・北朝鮮の実像—核・ミサイル・金正恩体制」朝日新聞出版, 2017年
- [坂田1972] 坂田昌一「科学者と社会」岩波書店. P. 106.
- [週刊朝日20170829] 北朝鮮に狙われる在日米軍基地 小野寺防衛相「対応できる」発言にのけぞった自衛隊幹部の本音〈週刊朝日〉2017年8/29(火) 9:42配信.
<https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20170829-00000012-sasahi-pol&p=1>
- [鈴木邦2017] 鈴木邦男「憲法が危ない！」祥伝社新書, 2017年.
- [鈴木達201709]** 鈴木達治郎, 北朝鮮の核の脅威への対応で肝心なこと, 朝日新聞2017年9月13日.
- [谷口2017] 長崎被災協「谷口稜暉さんのラストメッセージ」, 2017年9月20日,
<https://www.youtube.com/watch?v=0Fst1LuLllw>
- [富田2017] 富田宏治「核兵器禁止条約の意義と課題」かもがわ出版, 2017年.
- [豊下2014] 豊下櫛彦, 古関彰一「集団的自衛権と安全保障」(岩波新書) 2014年.
- [長崎大RECNA2017] 鈴木達治郎他、核兵器禁止条約採択の意義と課題、
長崎大学核兵器廃絶研究センター、2017年8月。
<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/37700/1/REC-PP-06.pdf>
- [長崎大RECNA2015] 梅林宏道他(長崎大学核兵器廃絶研究センター)、提言 北東アジア非核兵器地帯設立への包括的アプローチ, 2015年3月

[東京20171127] 東京新聞, 唯一の被爆国 特別な役割ある 核禁止条約、日本参加を
2017年11月27日 <http://www.tokyo-np.co.jp/s/article/2017112790070902.html#print>
[豊下2007] 豊下櫛彦「集団的自衛権とは何か」岩波新書, 2007年.
[林1975] 林 京子「祭りの場」講談社, 1975年.
[ハンホソク2016]ハンホソク(韓 浩錫, 米国統一学研究所所長)
「核兵器兵器化工場の強化型核分裂弾と核融合弾」2016年3月14日
<http://m.jajusibo.com/a.html?uid=26414§ion=sc38§ion2=>
[七人委20170710] 世界平和七人委員会, 核兵器禁止条約採択を心から歓迎する
(2017.07.10)http://worldpeace7.jp/?page_id=384
[パーシコ2003]ジョセフ・E・パーシコ(Joseph.E.Persico)というアメリカの伝記作家の「ニュ
ルンベルク軍事裁判」(下)(白幡憲之訳、2003年,原書房)p.171.
[平井2017] 平井久志, 持久戦覚悟の粘り強い対話しか道はない, 世界2017年11月p.74
[平岩2017] 平岩俊司「北朝鮮はいま何を考えているのか」, NHK出版新書, 2017年.
[米ソ核兵器数水位] アメリカ合衆国(青)とソビエト連邦(ロシア、赤)の核兵器保有量の
推移(1945年-2005年)
https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/thumb/b/bb/US_and_USSR_nuclear_stockpiles.svg/langja-375px-US_and_USSR_nuclear_stockpiles.svg.png
[孫崎2010] 孫崎亨「日本人のための戦略的思考入門一日米同盟を越えて」祥伝社新
書.2010年.
[孫崎2011] 孫崎亨 ([twitter](https://twitter.com)), 参議院予算委員会公聴会 安全保障,
2011. 3. 23, <http://chizai-tank.com/MAGOSAKI/Magosaki20110401.htm>
[美浦2016]美浦克教, ヘルマン・ゲーリングの言葉と伊丹万作の警句「だまされることの罪」
～今年1年、希望を見失わないために,2016.1.1
<http://news-worker.hatenablog.com/entry/20160101/1451575528>
[柳沢20170822] (安保考)プロローグ:上 北朝鮮情勢と米艦防護 元内閣官房副長官
補・柳沢協二さん, 朝日新聞, 2017.8.22

[山田1979] 山田浩「核抑止戦略の歴史と理論」法律文化社, 1979年.

[湯川1977] 湯川 秀樹, 朝永 振一郎, 豊田 利幸(編集)「核軍縮への新しい構想」
岩波書店, 1977年.

[吉田文2000] 吉田文彦「証言・核抑止の世紀—科学と政治はこう動いた」朝日新聞社(朝日選書), 2000年.

[吉田康2006] 吉田康彦「北朝鮮核実験に続くもの—核拡散はとまらない」第三書館, 2006年.

[レブソン2009] N.G.レブソン「セーフウェア 安全・安心なシステムとソフトウェアを目指して」翔泳社, 2009年.

[ロイター20170831] 焦点:北朝鮮ミサイル発射で注目集まる米国「迎撃」の選択肢,
ロイター通信, 2017年 08月 31日

<https://jp.reuters.com/article/northkorea-us-missiles-shootdown-idJPKCN1BA0QG?rpc=122&sp=true>

[加戸20171013] (社説余滴)平和、頼れない、頼らない 加戸靖史, 朝日新聞, 2017年10月13日.

[渡邊20170918] 渡邊敬貴, 北朝鮮危機と日米同盟の逆説・ジレンマの克服—主体的な外交ビジョンによる多角的対話チャンネルの構築
渡邊敬貴, WEBRONZA(朝日新聞社)2017年09月15日

[朝日20171021] 核不拡散を議論、北朝鮮局長出席 モスクワで始まる
朝日新聞, 2017年10月21日

§ § 複眼的な情勢分析

「周恩来いわく、情勢分析には三つの分析がある
一客観的，政策遂行用，宣伝用一」

「政策遂行用の分析がもっとも厄介だ」
←相手を動かすのに最も都合のよい理由を探し出し、
そして、それをあたかも客観的分析のように
指示するから。

[孫崎2010] , P. 198.

注) 周 恩来(しゅう おんらい、ヂョウ・オンライ、1898年3月5日 - 1976年1月8日)
は中国の政治家。字は翔宇。中華人民共和国が建国された1949年10月1日以来、
死去するまで一貫して政務院総理・国務院総理(首相)を務めた。
毛沢東共産党主席の信任を繋ぎとめ、文化大革命中も失脚しなかったことなどから
「不倒翁」(起き上がり小法師)の異名がある。1972年に、日本国首相の田中角栄(当時)
と日中共同声明に調印したことで知られている。

核兵器は世界に1万4900個。核所有国家一覧と推定所有数

WHERE THE WORLD'S 14,900 NUCLEAR WEAPONS ARE



2017年現在、核兵器保有国は9カ国(米, 露, 英, 仏, 中国, インド, パキスタン, イスラエル, 北朝鮮)に拡散し、核兵器総数は約15000発に及ぶ、

Country	Russia	US	France	China	UK	Pakistan	India	Israel	N. Korea
Deployed	1,790	1,740	290	?	120	0	0	0	?
Stockpiled/non-deployed/other	2,700	2,740	10	260	95	140 ^A	120 ^B	80	8
Retired/waiting to be dismantled	2,510	2,300	0	0	0	0	0	0	0
Totals	7,000	6,780	300	260	215	140	120	80	8^C

A. Some data suggest Pakistan has 120-130 nuclear weapons, which are left unassembled until launch. (FAS)

B. Similarly, some data suggest India has 110-120 unassembled nuclear weapons. (FAS)

C. Estimate based on bomb-grade material North Korea has likely made. It's not publicly known if the nation has warheads capable of launch.

[核兵器数2017]

核兵器削減への取り組み

1963年, [部分的核実験禁止条約](#)

1968年, [国連総会](#)で[核拡散防止条約](#) (NPT) が採択された。

これはアメリカ合衆国、ソビエト連邦、イギリス、フランス、中華人民共和国([五大国](#))のみを国際的に認められた「核兵器保有国」として核軍縮義務を規定し、他の「非核兵器保有国」の核兵器保有を禁止し「核の平和利用」に限定するものである。

1996年, [地下核実験](#)を含め禁止する[包括的核実験禁止条約](#) (CTBT) は、2010年現在でも発効していない。

ただし[臨界前核実験](#)(または未臨界核実験, nuclear hydrodynamic experiment) は[部分的核実験禁止条約](#), [包括的核実験禁止条約](#)でも禁止されていない。

→核拡散防止条約の分離: **多数派: 核兵器禁止条約2017年**
少数派: 核兵器保有国と核の傘国

- ・戦争と平和の社会経済の面(の分析);
- ・産軍学複合体をバックにした軍事技術官僚の集団,
- ・戦争と平和の精神的・人間的側面(の分析)
- ・抑止論の矛盾のひとつとしての「安全保証のディレンマ」
- ・北朝鮮の核・ミサイル開発をめぐる脅威論, その報道・論評の不公平性

§ § インドとパキスタンの核兵器保有

ムシャラフ元大統領「インドに核使用を検討」

毎日新聞2017年7月26日

ムシャラフ氏は大統領在任中の2002年、インド国会襲撃テロ事件後に両国関係が緊張した事態を受け、インドへの核兵器使用を検討したが、報復を恐れ断念したと明らかにした。核保有国のトップが核使用を検討した事実と言及するのは極めて異例。印パ対立が核戦争の引き金になりかねない状況を改めて浮き彫りにした。

ムシャラフ元大統領の発言ポイント

▽2002年に核使用の一線を越える可能性があった。しかし、核弾頭の装填の指示はしなかった。

▽インドの前国防相が核先制不使用を見直す発言をした。非常に危険。核を使うと言っているに等しい。

▽(パキスタンの「核開発の父」と呼ばれる)カーン博士から核開発関連装置がイラン、北朝鮮に流れた。それ以外は知らない。

・日本はインド・パキスタンの核保有を思いとどまらせるために、米国の核の傘に入るように説得した。このような日本の態度が、却って東アジアの非核化を停滞させる要因になっている。[グリーン2000]

引用参照文献情報(五十音順)

- [朝日20170809] 核禁止条約「核の傘の下でも可能」 交渉まとめ役が見解, 朝日新聞, 2017.8.9
- [朝日20170901] 防衛費2.5%増、膨張一途 陸上イージス「額未定」 概算要求, 朝日新聞, 2017年9月1日.
- [石破2017] 石破茂, アメリカの「核の傘」は今も万全か, 「持ち込み」から共同保有まであらゆる議論が必要だ, 中央公論, 2017年11月号, p.48.
- [礒崎・小泉2017] 礒崎敦仁・小泉 悠「『核保有』北朝鮮に, 大国・中口の思惑は」, 中央公論, 2017年11月号, p.64.
- [岡本2017] 岡本良治, 北朝鮮の核開発はどこまで進んだか. 日本の科学者 Vol.52.No.11(2017)24
- [ICAN2017] ICAN(The International Campaign to Abolish Nuclear Weapons), About the treaty to prohibit nuclear weapons, 2017.7.7
<http://www.icanw.org/campaign-news/about-the-treaty-to-prohibit-nuclear-weapons/>
- [ウィルソン2016] W.ウィルソン「核兵器をめぐる5つの神話」(RECNA叢書), 法律文化社, 2016年.
- [太田2014] 太田昌克「日米〈核〉同盟——原爆、核の傘、フクシマ」(岩波新書) 2014年.
- [核兵器数2017] Skye Gould, 核兵器は世界に1万4900個。核所有国家一覧と推定所有数, Jan. 31, 2017, <https://www.businessinsider.jp/post-604>
- [核抑止@ウィキペディア] 核抑止@ウィキペディア(フリー百科事典)
- [川崎20170810] 川崎哲氏のブログ.
核兵器禁止条約は「核の傘の下でも可能」とする朝日新聞の記事について——そもそも「核の傘」とは？
http://s.webry.info/sp/kawasakikira.at.webry.info/201708/article_1.html
- [川田2017] 川田忠明_日本の科学者 Vol.52.No.11(2017) 31

- [カンナ2017] カンナ・ブログ「総書記 遺された声 日中国交 45年目の秘史」と「日中“密使外交”の全貌～佐藤栄作の極秘交渉～」, 2017.9. 26
<http://aoiyugure.blog62.fc2.com/blog-entry-3639.html>
- [グリーン2000] R.D. グリーン「検証『核抑止論』—現代の『裸の王様』」高文研, 2000年.
- [栗崎2015] 栗崎周平「集団的自衛権行使による抑止力」向上は本当か, 世界, 2015年9月号, pp.78- 88.
- [古関2013] 古関彰一「安全保障とは何か」岩波書店 2013年.
- [坂井平岩2017] 坂井隆, 平岩俊司「独裁国家・北朝鮮の実像—核・ミサイル・金正恩体制」朝日新聞出版, 2017年
- [週刊朝日20170829] 北朝鮮に狙われる在日米軍基地 小野寺防衛相「対応できる」発言にのけぞった自衛隊幹部の本音〈週刊朝日〉2017年8/29(火) 9:42配信.
<https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20170829-00000012-sasahi-pol&p=1>
- [鈴木邦2017] 鈴木邦男「憲法が危ない！」祥伝社新書, 2017年.
- [鈴木達201709] 鈴木達治郎, 北朝鮮の核の脅威への対応で肝心なこと, 朝日新聞2017年9月13日.
- [谷口2017] 長崎被災協「谷口稜暉さんのラストメッセージ」, 2017年9月20日,
<https://www.youtube.com/watch?v=0Fst1LuLllw>
- [富田2017] 富田宏治「核兵器禁止条約の意義と課題」かもがわ出版, 2017年.
- [豊下2014] 豊下櫛彦, 古関彰一「集団的自衛権と安全保障」(岩波新書) 2014年.
- [長崎大RECNA2017] 鈴木達治郎他、核兵器禁止条約採択の意義と課題、
 長崎大学核兵器廃絶研究センター、2017年8月。
<http://naosite.lb.nagasaki-u.ac.jp/dspace/bitstream/10069/37700/1/REC-PP-06.pdf>
- [長崎大RECNA2015] 梅林宏道他(長崎大学核兵器廃絶研究センター)、提言 北東アジア非核兵器地帯設立への包括的アプローチ, 2015年3月
- [七人委20170710] 世界平和七人委員会, 核兵器禁止条約採択を心から歓迎する(2017.07.10)http://worldpeace7.jp/?page_id=384
- [パ・シコ2002] シコセコ・パ・シコ(Joséphine Bernice)というアメリカ人の記作案の「ネー

[米ソ核兵器数水位] アメリカ合衆国(青)とソビエト連邦(ロシア、赤)の核兵器保有量の推移(1945年-2005年)

https://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/thumb/b/bb/US_and_USSR_nuclear_stockpiles.svg/langja-375px-US_and_USSR_nuclear_stockpiles.svg.png

[孫崎2010] 孫崎亨「日本人のための戦略的思考入門一日米同盟を越えて」祥伝社新書.2010年.

[孫崎2011] 孫崎亨 ([twitter](https://twitter.com/sunakikazu)), 参議院予算委員会公聴会 安全保障, 2011. 3. 23, <http://chizai-tank.com/MAGOSAKI/Magosaki20110401.htm>

[美浦2016]美浦克教,ヘルマン・ゲーリングの言葉と伊丹万作の警句「だまされることの罪」～今年1年、希望を見失わないために,2016.1.1

<http://news-worker.hatenablog.com/entry/20160101/1451575528>

[柳沢20170822] (安保考)プロローグ:上 北朝鮮情勢と米艦防護 元内閣官房副長官補・柳沢協二さん, 朝日新聞, 2017.8.22

[山田1979] 山田浩「核抑止戦略の歴史と理論」法律文化社, 1979年.

[湯川1977] 湯川 秀樹, 朝永 振一郎, 豊田 利幸(編集)「核軍縮への新しい構想」岩波書店, 1977年.

[吉田2000] 吉田文彦「証言・核抑止の世紀—科学と政治はこう動いた」朝日新聞社(朝日選書), 2000年.

[レブソン2009] N.G.レブソン「セーフウェア 安全・安心なシステムとソフトウェアを目指して」翔泳社, 2009年.

[ロイター20170831] 焦点:北朝鮮ミサイル発射で注目集まる米国「迎撃」の選択肢, ロイター通信, 2017年 08月 31日

<https://jp.reuters.com/article/northkorea-us-missiles-shootdown-idJPKCN1BA0QG?rpc=122&sp=true>

[加戸20171013] (社説余滴)平和、頼れない、頼らない 加戸靖史, 朝日新聞, 2017年10月13日.

[渡邊20170918] 渡邊敬貴, 北朝鮮危機と日米同盟の逆説・ジレンマの克服
—主体的な外交ビジョンによる多角的対話チャンネルの構築
渡邊敬貴, WEBRONZA(朝日新聞社)2017年09月15日

[朝日20171021] 核不拡散を議論、北朝鮮局長出席 モスクワで始まる
朝日新聞, 2017年10月21日